

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市青山台一丁目計画	階数	地上11F、地下1F
建設地	吹田市青山台一丁目	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	708 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年1月15日
敷地面積	8,775 m <sup>2</sup>	作成者	(株)D&D建築設計事務所 野口 才
建築面積	2,086 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月24日
延床面積	15,120 m <sup>2</sup>	確認者	(株)D&D建築設計事務所 泉尾 良人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>地球温暖化対策に向けて、住戸内の外皮性能を最高レベル等級4仕様とし、LED照明や潜熱回収型給湯器の住設を採用することで、ライフサイクルCO<sub>2</sub>の排出削減に努める計画とした。また、敷地内は積極的に植栽計画を施すことで、夏場の日射熱負荷を抑制し、環境負荷低減に配慮した。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>専有部分の断熱性能は、品確法の断熱性能等級4を満たす外皮仕様とし、熱負低減に努めた。また、内装建材にF☆☆☆☆規格品を採用することで、室内環境に配慮した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>構造躯体は、品確法の劣化対策等級3を満たす躯体性能を確保し、躯体の長寿命化に配慮した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>敷地内へ積極的に植栽を設けることで、地域住民が自然環境と触れ合える良好な景観形成に配慮した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>住戸内の外皮性能は断熱等級4レベルとし、LED照明や潜熱回収型給湯器を採用するなど、熱負荷抑制に努めた。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>住戸内の壁下地に木軸組下地を採用することで、躯体や仕上材などの分別を容易に行えるよう、部材の再利用可能性向上に努めた。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>の排出削減に努め、地球温暖化対策に取り組んだ。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0143

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市青山台一丁目計画						
		建設地	吹田市青山台一丁目						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減					3			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					4			
④	エネルギー削減					3			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									